

令和5年度 第4回平田野中学校運営協議会報告書

令和5年12月1日（金）

会議室 19:00

1 あいさつ

（会長より）

- ・12月（師走）に入って、急に寒くなった。雪が降っている地域もあると聞く、今年も終わりが近くなって、今年の流行語大賞は「アレ」に決まった。運営協議会の1年を振り返ると、前回の校区合同の学校運営協議会は良かった。8月の補充学習への参加も良かった。今回の資料を見ると学力は厳しい。ヤングケアラーなど世間には悪い話題もある。令和5年は良いことも悪いこともあった。ぜひ令和6年は良い年になるようにと思っております。

（校長より）

- ・先日の校区合同学校運営協議会、お忙しい中たくさんのご参加ありがとうございました。教育支援課の加藤先生もありがとうございました。同じ地域に暮らすものが、地域の子どもの9年間を見通した育ちを見ていただく機会になったのではと考えている。小学校の関係の方にも中学生の姿を見ていただき、確認できたのではと考えている。
- ・今日は、学力についてのお話もさせていただく。忌憚のない意見をお願いする。

2 協議事項

（1）全国学力・学習状況調査について 校長（別紙参照）

- ・全国学力・学習状況調査は、中学校3年生の4月に実施。例年は国語・数学で、今年度は英語も行った。9月に結果が出た。
- ・まず、教科について確かに数値は全国平均と比べて良くない。しかし、これは国も言っていることだが、「調査」であって試験ではない。調査によって現在の状況を把握して、分析したうえで「これからどうしていくか」が大切。傾向としては、記述式の問題に弱みがある。ただ、無回答率が低い点は評価できる。「何とかがんばって答えを書こう」とする姿勢は見られる。
- ・記述式への対応だけではないが、研修部でも「表現力の育成」をテーマに授業改善に取り組んでいる。
- ・生徒質問紙では、「将来の夢や目標を持っている」「ICT 機器の活用」などで、全国平均を上回って良いと答えた生徒がいる。ここは評価できると考えている。
- （会長）公開授業の日と校区合同学校運営協議会の日には社会の授業を見せてもらった。昔と違って、社会の授業も「覚えるだけではない」授業だった。「応用がきく」ことが大切。国語と数学でも同じような課題があるのだと思う。そのためには、読書が大事だと思うが、読書量が減っている。

- (委員) 読書の話が出たので、前回の時に図書室を見せてもらったら、素晴らしかった。いろんな掲示物もあり、力を入れているのがわかり充実している。どれくらい生徒が利用しているのか？中学生がどれくらい本を読んでいるのか？一部の子が借りていくのか、全体に図書室はよく利用しているのか知りたい。
- (地コ) ボランティアで図書の貸出のお手伝いをしているが、いつも来てくれる子が多い。同じ顔触れが多いという印象がある。開館している時間が、昼休みの15分だけで、利用する学年も日によって決まっているが、一人でぽつんとではなくみんなで連れだって来てくれる。新刊本のコーナーをながめて、話をしてくれて、まあ、でもなかなか借りてはくれない。図書委員が貸出で「ビンゴ」とか工夫もしてくれているが、まだまだです。
- (会長) 公民館でも図書の貸出をしているが、なかなか子どもたちが借りるような状況にはならない。私は歴史小説が好きなので、司馬とか池波とか作家を決めて読んだりする。中学生もそうすると良いのだが。江戸の暮らしとかわかって歴史の勉強にもなる。
- (委員) 15分しか開館してない。充実した図書室なのだから、授業とかで活用して、1時間くらい利用することができるといい。
- (校長) 中学校は部活があり、放課後の時間はなかなか図書室を開くのは難しい。しかし、おっしゃった通り授業での活用はまだまでする。教科の授業でももちろんだが、例えば修学旅行の事前学習に、図書室で調べ学習なんかも良い。開館時間をのばすことよりも、授業での活用は現実的で取り組むべきだと感じる。ただ、調べ学習は最近ICTの活用も多いので両立に課題もある。
- (会長) 今は何でもスマホで調べられる。やはり、お父さんお母さんが本が好きだと子どもも好きになる。大人がどうするかが大事。
- (校長) 電車に乗ると、電車の中でも大人もスマホを見ている人が大半で本を読んでいる人は見なくなった。子どもたちにとって、大人が本を読んでいる環境は大切。行政が例えば市で「読書週間」とか決めて大人が読んでいる時期があるといいのかもしれない。
- (委員) うちの子は、図書室は好きで、「やっとこれが(図書室で)借りられた」とか言っている。ただ、かつてと比べると、自分が子どものころは、すごく本好きの友達とかがいて、すごくたくさん本を借りていて、本もたくさん読んでいて、そんな子がいた。本好きなこと一緒にいると本を読む機会も増えると思う。かつては、そんな子が多かったと思う。
- (委員) ほんとに良い図書室。生徒が本の紹介なんかをしているのも、すごく良い取組の図書室。校長先生がおっしゃったように、活用する時間を増やしてほしい。
- (委員) 学力についてですが、かなり昔の話ですが、三進連をやっている

ころから、平田野はあまり点数がよろしくない印象がある。どうしてなのでしょう？地域性があるのかな。先生方は異動があるので入れ替わっている。いったい何が問題なのか知りたい気持ちはある。

読書については、中学生になってから、いきなり本好きになるということはない。やはり、幼稚園の頃から小学校中学校と本に触れていくことが必要。私は「うりんこ」という活動で、校区でいうと庄野だけですけれど、幼稚園の時に必ず読み聞かせをしている。少しでも本好きになってくれればと思う。

→（委員）世代間のギャップがあると思う。私が昔教えてもらったのは「この世の中に不必要な人はいない」ということ。どんな人でも興味のある分野では力を発揮する。その人の興味に合致する本があればいい。合致する人は読むし、合致しない人は読まない。私がアメリカで仕事をした時に英語で苦労した。苦労したりして目的に合致すればその本を読むと思う。私も歴史小説やSFが好きで、中学生も自分に合致したジャンルの本があれば読むと思う。

→（橋爪）図書室の本はかなりたくさんジャンルの本が揃っている。中学生と話す中で「〇〇の本ありますか？」とリクエストしてくれたら司書の人と相談して、ピッタリの本を紹介できます。生徒の気に入るものは揃っていますね。

→（佐野）前回、図書室に行ったときに、生徒がリクエストした本というのが置いてありました。平岩弓枝さんの本で、中学生がこういう本を読むのかとびっくりした。

→（校長）中学生の中には、自然に本に囲まれて育った生徒もいれば、そうでない生徒もいる。そうでない生徒のほうが読書へのハードルは高い。やはり、そういった生徒に本を読んでもらうためにも、授業で図書室を活用するなどして、本に触れる機会を増やすことが必要だと感じる。今回はいいお話が聞けて良かった。

（2）令和5年度平田野中学校区合同学校運営協議会について・・・・・・・・校長・教頭・今年度、昨年度と少し形を変えて、授業参観・講演・グループ討議とした。皆さんからのご意見・ご感想があればお願いしたい。

→（委員）昨年のはわからないが、内容が変わったとはきいている。今回参加した感想ですが、授業が見られて生徒の様子がわかった、参加して良かった。

→（校長）実は平田野中学校区の校長会でも、授業参観は良かったという感想をいただいた。小学校からすると、自校の卒業生が中学生になって頑張っている姿が見られて良かったとのこと。9年間を見通すという意味での良かったと考えている。

→（委員）小学校はそれぞれの教育方針があって、3校はそれぞれの特色があ

る。9年間を通して考えると、3つのそれぞれの特色が中学校で一つになるという意味でも意見交換があってよかった。

→（校長）多くの小学校が単級で、比較的狭い人間関係の中で過ごしている。それが中学校に来ていきなり4学級とかなると中1ギャップはある。子どもの変化を見てあげることも大切だし、小学校も最近教科担任制などが取り入れられて、中学校への接続も考えられては来ている。

(3) 本年度の学校関係者評価について・・・ 教頭説明

(4) コミュニティスクールに関する意識調査について・・・ 教頭説明

3 教育支援課より

- ・平田野中学校区合同学校運営協議会の振り返りありがとう。
- ・全国学力・学習状況調査について、平田の中学校ではICTの活用は全国平均を大きく上回っている。ただ子どもたちの時間は有限で、ICTの活用が進んだ分、読書の時間が減ったのかもしれない。
- ・読書の大切さはみなさんおっしゃっていた。①素晴らしい図書室を授業での活用 ②担任から生徒に週に1回程度本のアピールという2点を提案したい。

4 その他

(1) 今後の開催予定について

- ・第5回2月9日（金） 第6回3月1日（金）を確認

以上